

## タラヨウの短冊で七夕に願いごと

7月1日（水曜）から大田黒公園（荻窪3丁目33番12号）で、タラヨウの葉に願いごとなどを書いて、竹に飾る催しが行われています。飾られた短冊には、健康、平和、感謝など様々な思いがこもっています。もうすぐ七夕、公園の緑に囲まれた中で、願いごとなどを綴ってみてはいかがでしょうか。この催しは、7日（火曜）まで行われています。

大田黒公園は、音楽評論家の大田黒元雄氏の屋敷跡地につくられた荻窪のゆるやかに起伏する台地に自然の地形をいかした、杉並の区立公園としては初めての回遊式日本庭園です。園内には緑の芝生が広がりアカマツ、ナラ、ケヤキなどと一緒に高さ8メートルほどのタラヨウの大木があります。

タラヨウの葉は大きくて厚く、長さ20cmほどになります。また、葉の裏にとがったもので字を書くと、黒く変色し文字が浮かび上がるという性質があることから、「葉書の木」とも呼ばれ、郵便局のシンボルツリーにもなっています。



そのようなタラヨウの性質を活かし、平成23年度から、毎年七夕の時期に、このタラヨウの葉を短冊に見立てて願いごとを書いて飾る催しが行われています。職員手作りの竹ペンで、公園で採取されたタラヨウの葉に願いごとを書き、公園事務所前に準備した竹に飾りつけることができます。この日、訪れた60代の女性は、「足がよくなりますように」と願いをタラヨウに託していました。

### ◆タラヨウの葉の短冊飾り◆

【場所】区立大田黒公園（荻窪3丁目33番12号）

【日時】7月1日（水曜）～7日（火曜）午前9時～午後5時

（入園は午後4時半まで）

【費用】無料

【申し込み】期間中、直接会場へお越しください。

【報道機関 問い合わせ先】

区立大田黒公園 電話 03-3398-5814